

# 令和7年度公益財団法人大田原市農業公社事業計画書

## 1 基本方針

大田原市農業公社は、大田原市において農地の流動化に関する事業その他農業構造の改善に資するための事業を行い、優良農地の保全、農地集積による経営規模の拡大を図ることにより農業の生産性の向上と効率的かつ安定的経営体の育成に努めるものとする。また、農業及び農村に対する理解と関心等を深めるため、安全で安心な農産物の提供や生産者と消費者の交流を促進する与一の郷ごころ便事業及び農業体験事業を行なう。

## 2 実施計画

### (1) 農地の流動化に関する事業

農業者の利用する農地は徐々に集積・集約化されつつあるが、まだ不十分であり、効率的な利用が進まない状況にある。この度、農業経営基盤強化促進法に基づく「地域計画」が策定されたことに伴い、更に市、県、農協、農業委員会、土地改良区、県農業振興公社等、関係機関と連携を密にし、経営規模縮小農業者やリタイアする農業者等の所有者の農地を、「地域計画」（目標地図）に位置付けられた認定農業者や地域の中心となる経営体への農地集積を引き続き行う。

### ア 農地中間管理事業業務受託（貸借の受託事業）

農地の集積・集約化を推進するため、「農地中間管理機構（県農業振興公社）」が農地所有者と担い手の間に入り、農地の借受け及び貸付けを促進する事業の業務を受託する。

本年度		前年度	
促進計画		集積計画・促進計画	
件数	面積	件数	面積
400件	310ha	50件	35ha

イ 農地中間管理機構の特例事業業務受託（売買の受託事業）

農地の集積・集約化を推進するため、「農地中間管理機構（県農業振興公社）」が農地所有者と担い手の間に入り農地の売買により農地の集積を促進する事業の業務を受託する。

【買入】

本年度		前年度	
売買契約		売買契約	
件数	面積	件数	面積
25件	15ha	25件	15ha

【売渡】

本年度		前年度	
売買契約		売買契約	
件数	面積	件数	面積
25件	15ha	25件	15ha

(2) 与一の郷ごころ便事業

本事業は、当市で生産される品質の良い農産物を県内外に広く知ってもらうため農産物の宅配便「与一の郷ごころ便」を実施し、農業及び農村に対する理解と関心等を深めるためのキャンペーンを実施する。

- ・与一の郷ごころ便の実施（夏・冬年2回）

### (3) 農業体験事業

農業に対する理解と関心を深めるとともに、地域の活性化を図るため農業体験等を通して生産者と消費者との交流を促進する。

日時	内容	体験場所	募集人数等
5月31日(土)	お茶摘み	須賀川地内	20人
6月21日(土)	梅の実収穫・梅干し漬け	湯津上地内 湯津上農村環境改善センター	16人
7月5日(土)	田舎饅頭作り	湯津上農村環境改善センター	16人
8月2日(土)	ブルーベリー収穫・ジャム作り	湯津上地内 佐良土多目的交流センター	12人
9月6日(土)	麴の漬物・三五八床作り	湯津上農村環境改善センター	16人
10月25日(土)	さつま芋掘り・栗きんとん作り	ポッポ農園 湯津上農村環境改善センター	16人
11月29日(土)	そば打ち	湯津上農村環境改善センター	12人
12月20日(土)	門松作り	須賀川地区公民館	20人
1月31日(土)	はりはり漬け・おから煮作り	湯津上農村環境改善センター	16人
2月14日(土)	味噌作り	大輪味噌加工場	40人

### (4) 意欲ある農業者の支援事業

#### ア 農業者等研修事業

認定農業者等を対象に、パソコン農業簿記講習会開催のほか、視察研修会や農政に関する各種の講演会開催を支援し、農業経営改善の支援に努める。

### (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

その他この法人の目的を達成するために必要な事業については、積極的に行なうものとする。